

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 10 日 (2009.9.10)

【公表番号】特表 2009-502863 (P2009-502863A)

【公表日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2009-004

【出願番号】特願 2008-523331 (P2008-523331)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04 1 4 2

C 07 D 487/04 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 17 日 (2009.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

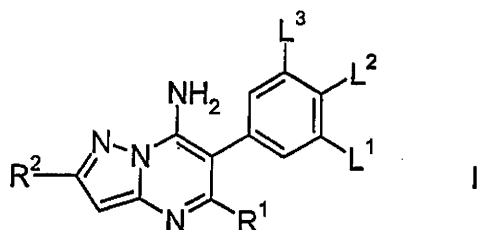
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I の 6 - フェニルピラゾロピリミジン - 7 - イルアミン

【化 1】



(式中の置換基は下記のとおり定義される：

L¹、L²、L³ は互いに独立して、水素、ハロゲン、ヒドロキシル、メルカプト、ニトロ、NR^AR^B、C₁-C₁₀-アルキル、C₁-C₄-ハロアルキル、C₂-C₆-アルケニル、C₂-C₆-アルキニル、C₁-C₈-アルコキシ、フェニル、フェノキシ、フェニルチオ、ベンジルオキシ又はベンジルチオであり；

R^A、R^B は、水素又は C₁-C₆-アルキルであり；

ここで、L¹、L² 及び L³ からなる群からの二つの隣接する基は一緒になって、C₁-C₄-アルキレン、C₂-C₄-オキシアルキレン、C₁-C₃-オキシアルキレンオキシ又はブタジエニル基であってもよく；

ここで、少なくとも一つの基 L¹、L² 又は L³ は水素でなく、そして基 L¹、L² 又は L³ は非置換であるか又は 1 ~ 4 個の同一の若しくは異なる基 R^a で置換されており；

R^a は、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、メルカプト、C₁-C₁₀-アルキル、C₁-C₁₀-ハロアルキル、C₃-C₈-シクロアルキル、C₂-C₁₀-アルケニル、C₂-C₁₀-アルキニル、C₁-C₆-アルコキシ、C₁-C₆-アルキルチオ、C₁-C₆-アルコキシ-C₁-C₆-アルキル又は NR^AR^B であり；

R¹ は、C₁-C₄-ハロアルキル、C₂-C₆-アルケニル、C₂-C₆-アルキニル、C₂-C₈-アルコキシアルキル又はフェニル-C₁-C₂-アルキルであり、ここ

で、環は非置換であるか又は1個若しくはそれ以上のハロゲン若しくは $C_1 - C_8$ -アルキル基で置換されていてもよく；

R^2 は、水素、ハロゲン、シアノ、 $NR^A R^B$ 、ヒドロキシル、メルカプト、 $C_1 - C_6$ -アルキル、 $C_1 - C_6$ -ハロアルキル、 $C_3 - C_8$ -シクロアルキル、 $C_1 - C_6$ -アルコキシ、 $C_1 - C_6$ -アルキルチオ、 $C_3 - C_8$ -シクロアルコキシ、 $C_3 - C_8$ -シクロアルキルチオ、カルボキシル、ホルミル、 $C_1 - C_{10}$ -アルキルカルボニル、 $C_1 - C_{10}$ -アルコキシカルボニル、 $C_2 - C_{10}$ -アルケニルオキシカルボニル、 $C_2 - C_{10}$ -アルキニルオキシカルボニル、フェニル、フェノキシ、フェニルチオ、ベンジルオキシ、ベンジルチオ、 $C_1 - C_6$ -アルキル- $S(O)_m$ -、又はO、N及びSからなる群からの1～4個のヘテロ原子を含有する5若しくは6員の飽和の、部分不飽和の若しくは芳香族のヘテロ環であり；

mは、0、1又は2であり；

ここで、 L^1 、 L^2 、 L^3 、 R^a 及び/又は R^1 における環状基は、非置換であるか又は1～4個の基 R^b で置換されており；

R^b は、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、メルカプト、ニトロ、 $NR^A R^B$ 、 $C_1 - C_{10}$ -アルキル、 $C_1 - C_6$ -ハロアルキル、 $C_2 - C_6$ -アルケニル、 $C_2 - C_6$ -アルキニル、 $C_1 - C_6$ -アルコキシ、又はO、N若しくはSからなる群からの1～4個のヘテロ原子を含有する5若しくは6員の飽和の、部分不飽和の若しくは芳香族のヘテロ環であり、これは非置換であってよく又は1個若しくはそれ以上のハロゲン及び/又は $C_1 - C_4$ -アルキル基で置換されていてもよい。

【請求項2】

R^1 が CF_3 、或いは置換されていないか、又はフェニル部分においてハロゲン若しくは $C_1 - C_4$ -アルキル基で置換されているベンジルである、請求項1に記載の式Iの化合物。

【請求項3】

R^2 がメチル又はアミノである、請求項1又は2に記載の式Iの化合物。

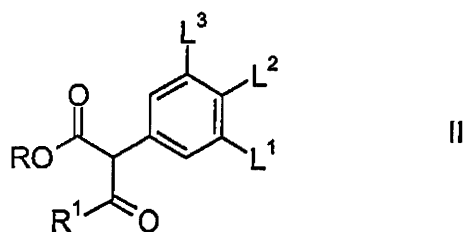
【請求項4】

L^3 が水素である、請求項1～3の何れかに記載の式Iの化合物。

【請求項5】

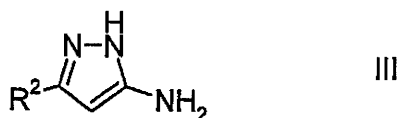
式IIの - ケトエステル

【化2】



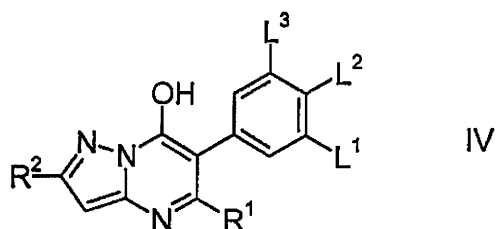
(式中、Rは $C_1 - C_4$ -アルキルである)を式IIIのアミノピラゾール

【化3】



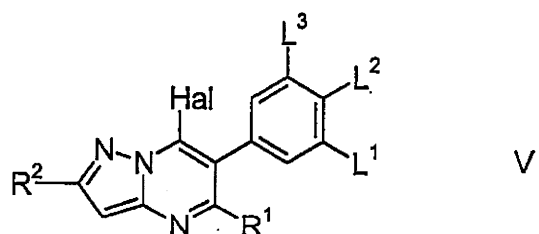
と反応させて式IVの7-ヒドロキシピラゾロピリミジン

【化 4】



を与え、これをハロゲン化して式 V の化合物

【化 5】



(式中、Hal は塩素又は臭素である) を与え、そして V をアンモニアと反応させる、請求項 1 ~ 4 の何れかに記載の式 I の化合物の製造方法。

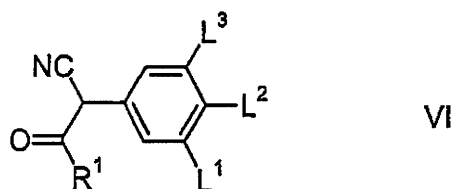
【請求項 6】

請求項 5 に記載の式 IV 又は V の化合物。

【請求項 7】

式 VI のアシルシアン化物

【化 6】



を請求項 5 に記載の式 III のアミノピラゾールと反応させる、請求項 1 に記載の式 I の化合物の製造方法。

【請求項 8】

固体又は液体の担体及び請求項 1 に記載の式 I の化合物を含む殺菌性組成物。

【請求項 9】

100 kg 当たり 1 ~ 1000 g の量で請求項 1 に記載の式 I の化合物を含む種子。

【請求項 10】

真菌又は真菌の攻撃から保護すべき材料、植物、土壌若しくは種子を有効量の請求項 1 に記載の式 I の化合物で処理する、植物病原性有害真菌の防除方法。